

はにい

親切って？

平成30年5月16日

ある学校の6年生の『道徳の時間』。今日は2回目の『親切』についての授業。
前回、一人ひとりが考えた『親切』について、
それぞれの児童が振り返るところから始まりました。
『親切』とは、「人がうれしいと思うことをする。」

そして、今日の読み物。

『道に迷ったおばあさんに気付いた小学生が、目的地までの地図を書き説明しました。しばらくすると、再び同じ場所におばあさんは戻ってきてしまいました。おばあさんを見た女子中学生が目的地まで一緒に行く。その姿を目撃した小学生は……。』というお話でした。



子どもたちは感じたことを、自由に発言します。
「地図を渡して説明したから、到着できると思ったのに……。」
「道を教えることは100%の親切、さらに地図を書くことは120%の親切だと思ったのに……。」

そして、ある女の子が発言をしました。

「女子中学生の親切のほうが……。親切が……。親切が高い！」
「高い親切ってどういうこと？」

子どもたちの声が一瞬途切れました。
「じゃあ、近くの人と話してみようか。」

教室が一斉ににぎやかになりました。
自分が考えたこと、友達が考えたこと、
話は尽きません。



そして、最後に一人ひとりが『親切』についてもう一度考えました。

ある子のノートに書かれた言葉です。
「親切には段階やレベルがある。相手によって変わるから考えたい。」

『はにい』はコミュニケーションツールです。 みんなで語り合いましょう。

ご意見・ご感想は → inochi4027@pref.kanagawa.jp